

令和4年度 広島大学附属小学校 学校経営方針

附属小学校の経営方針

1. 使命（ミッション）

- (1) 学習指導要領に則して、小学校教育の目的を達成する。
- (2) 附属小学校の教育目標（自主・協同・探究）に従った教育実践を行う。
- (3) 小学校教育の理論と実践に関する先端的研究を行う。
- (4) 大学および国や広島県との連携によって教育実習と教員研修の実施に当たる。
- (5) 小学校教育の質的向上に寄与する諸活動を展開し、成果を公開する。
- (6) ユネスコスクール加盟校として、ESD(持続発展教育)およびSDGs(持続可能な開発目標)をテーマとして、グローバル化に対応したカリキュラム開発とそれを通じた人材育成に取り組む。

2. 学校経営重点課題

1) 教育課程

- 引き続きESDおよびSDGsの枠組みに基づき、グローバル社会に生きる主体を育成する初等教育カリキュラムの開発研究を行う。その際、今次の学習指導要領に定められた標準の教科と授業時数をふまえながら、各教科のカリキュラムのみならず、総合学習および児童の自治的活動を含めた本校の新しい教育課程の体系化に向け、本年度末までに仮説を示す。
- 情報倫理教育について、日々の注意喚起とともに系統的な取り組みを行う。
- 平和教育について本校のカリキュラムを明示化する。

2) 教育活動・教育環境の充実

- 特別支援が必要な児童について、支援員の雇用とともに、スクールサポーター制度導入を試みる。
- いじめ防止対策について、昨年度見直した組織や認定規準のもと、学校全体で取り組む。
- 図書室およびパソコン教室の効果的利用について、いっそうの拡充に努める。
- ICT機器や放送設備の更新や拡充について、中期的な計画を立て、進めていく。

3) 学校運営

- 新型コロナウイルス感染拡大防止については、マニュアルの策定・更新等の必要な対応を行い、感染を最小限にとどめながら、教育研究活動を行っていく。
- 教員室滞在推奨月間の設定等により、緊密な教員組織を作り、教員相互の意見交換を活発化する。
- 職員会議資料のペーパーレス化のみならず、学校教育研究会の活動・業務のデジタル化等、学校運営全体における必要可能な部分のデジタル化を進める。

4) 大学との連携

- 小学校の教員を志望する学生や養護教諭を志望する学生に対して、適切な教育実習指導を行う。また教職大学院に在籍する大学院生に対する実践演習を実施する。
- 学部附属共同研究をはじめとした大学と附属教員による共同研究を推進し、附属教員の実践研究能力の向上を図る。その際、大学の制度に則り、学部・附属の連携を記録に残す。

5) 社会貢献

- HPの充実させ、本校の教育研究に、外部からアクセスし、反応を蓄積する仕組みを構築する。
- 研究大会について、対面とオンラインによる開催の両立について、将来をふまえた検討を行う。
- 広島市小学校教育研究会に参加できる体制を整え、教職員のネットワークを拡大する。

6) 働き方改革

- 新しい年休の取り方の工夫など、学級担任も年休が取得しやすい環境づくりを推進する。
- 「定時退校日」のより現実的な実施を推進するとともに、実施について大学への報告を行う。
- 来年度以降の『学校教育』誌の存続について、外部識者も加え検討委員会を設置し、検討を行う。